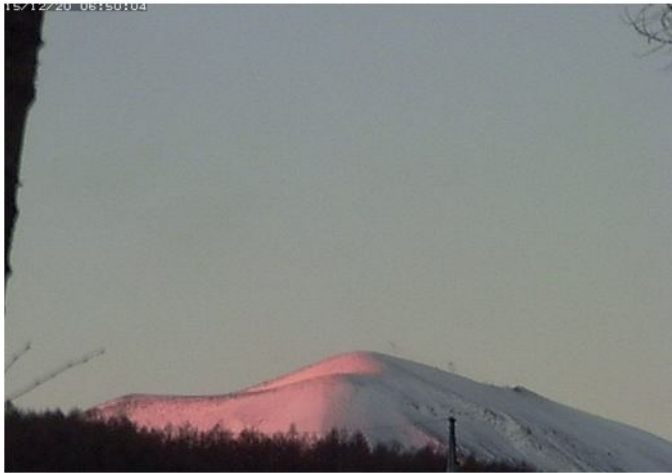


「浅間山の山体投影」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

今年の浅間高原は、12月下旬近くになっても雪がない。雪は2回降って、一度は数センチ積もったのだが、今は全部融けてしまった。完全に冬枯れの風景である。今日は朝から快晴で、一日美しい姿を見せていた。



午前 6:50 浅間に朝日が射し、桃色に染まった。



午前 11:10 白煙(噴煙ではない)が少し多く見られた。



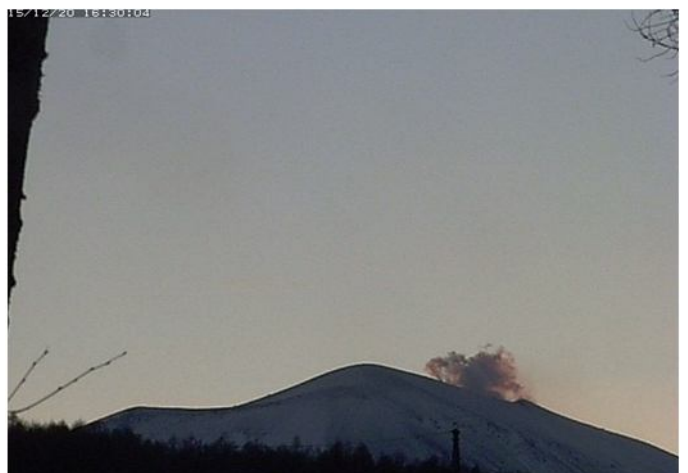
15:40 浅間の北西麓に太陽が沈んだ。



15:43 山稜への日没直後、不思議な現象が見られた。浅間の影が、上空のうす雲に映っている。



拡大して、コントラスト調整すると、よくわかる。これは「山体投影」と呼ばれている。山体の影が、上空の雲をスクリーンとして映し出される、珍しい大気光学現象である。しかし、数分で終わってしまった。



16:30 日が暮れて、そろそろ暗くなり始めた。東京とちがって、陽が落ちると、急激に寒くなってくる。